

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公表番号】特表2013-528752(P2013-528752A)

【公表日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-037

【出願番号】特願2013-502659(P2013-502659)

【国際特許分類】

F 16 F 15/04 (2006.01)

F 16 B 37/08 (2006.01)

F 16 L 3/16 (2006.01)

F 16 B 2/10 (2006.01)

【F I】

F 16 F 15/04 A

F 16 B 37/08 B

F 16 L 3/16 A

F 16 B 2/10 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月24日(2014.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チューピングを車両フレームに固定するように構成されているコネクターアセンブリであって、

チューブ固定チャンバーと保持体チャネルとを含む本体と、

前記保持体チャネルと位置合わせされるとともにフラッシュゲートを介して前記本体に一体的に連結されているスタッド保持体とを具備し、

前記スタッド保持体は複数のビーム部に一体的に連結されたベース部を含み、前記ビーム部は前記ベース部とは反対側の壁部に一体的に連結され、スタッド保持チャンバーが前記ベース部と、前記ビーム部と、前記壁部との間に形成されており、

複数の振動減衰フィンガーが前記ビーム部から外方へ延びているコネクターアセンブリ。

【請求項2】

締結スタッドを確実に保持するように構成されているスタッド保持体であって、

複数のビーム部に一体的に連結されているベース部であって、前記ビーム部は更に該ベース部とは反対側の壁部に一体的に連結されており、スタッド保持チャンバーが、該ベース部と、前記ビーム部と、前記壁部との間に形成されているベース部と、

前記ビーム部から外方へ延びている振動減衰インターフェースとを備えるスタッド保持体。

【請求項3】

コネクターアセンブリであって、

本体であって、該本体を通って形成されているチューブ固定チャンバーと、該本体内の保持体チャネルと、外面から突出し対向するクリップとを含む、本体と、

前記保持体チャネルと位置合わせされるとともにフラッシュゲートを介して前記本

体に一体的に連結されているスタッド保持体とを具備し、

前記フラッシュゲートは、該スタッド保持体が分離され前記保持体チャネル内に保持されるよう、破断されるように構成されており、

該スタッド保持体はビーム部に一体的に連結されているベース部を含み、前記ビーム部は更に前記ベース部とは反対側の壁部に一体的に連結されており、前記対向するクリップは、前記壁部の一部にスナップ留め可能に固定されるように構成されており、スタッド保持チャンバーが、前記ベース部と、前記ビーム部と、前記壁部との間に画定されており、複数の振動減衰フィンガーが前記ビーム部から外方へ延びてあり、前記フィンガーはそれぞれ、前記ビーム部のうちの1つに一体的に連結されている可撓性のフィンガージョイント部を含み、自由フィンガー端が該可撓フィンガージョイント部から斜めに外方へ延びており、該可撓フィンガージョイント部は、前記自由端よりも前記ベース部に近い、スタッド保持体とを備えるコネクターアセンブリ。